

ふたばこども園

園便り 2月号

令和7年2月3日発行

文責 園長 納富博文

# ふたばっ子



すいせん

## 卒園や進級に向けて

例年より早く寒暖差のある時候となり、寒い日と暖かい日が繰り返しやってきています。気温の変化が激しいと体調を崩すことも多くなります。今年はインフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症などが例年よりも流行しています。園でも、1月末は感染症で休むお子さまが若干増えました。ご家庭でも、手洗いやうがいの励行、睡眠時間の確保など、基本的な感染症への対策とご注意をお願いします。

さて、今年度も残すところ2月と3月の2ヶ月となりました。2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、日時の経過が普段よりも早い気がする月です。これから、年長さんは卒園や小学校入学に向けて、年中さん以下は進級に向けて、各学年でそれぞれに準備を行います。何かとご理解とご協力をお願いすることと思っておりますが、よろしくをお願いします。

## 今年はどうなおたのしみのプログラムがあるのかな

「おたのしみ会」は2月15日(土)です。「おたのしみ会」の詳しい日程やお知らせ等は、後日コドモンのメールでお知らせします。たくさんのご参観をお待ちしています。

ふたばの「おたのしみ会」は、「教師主導型で厳しく練習するおたのしみ会でいいのか」、「劇やオペレッタありきのおたのしみ会でいいのか」、「子どもが自分たちで創りあげていく過程を大事にしたい」など、『子ども主体とは、子ども中心の教育・保育とは』を考えながら、ここ数年間、見直しや改善・工夫をしてきました。そうした中で、「おたのしみ会」も年々変化し、進化してきました。

子どもたちが自分たちのやりたいことを表現するおたのしみ会、子どもたちのアイデアや思いで創り上げていくおたのしみ会、その過程を大事にし、見守っていく先生方の教育・保育への取り組み、こうした思いや願いがいっぱい積み重なって、ふたばの「おたのしみ会」は本番を迎えます。

子どもたちや先生方のたくさんの思いを感じながら参観していただけたら嬉しいです。どうぞよろしくをお願いします。

また、ここ2~3年は、佐賀大学の先生をはじめ、子ども主体のおたのしみ会へ変化・進化させたい市内外のこども園、保育所などから、子どもたちが主体的に創り上げていく過程を参考にするために見学・参観に来園されています。「おたのしみ会」も先進的な取り組みの園として、モデルになっているようです。

## 「こどもがまんなか」の支援

ふたばの教育・保育や園行事等をできるだけ「子ども中心・子どもが主体」のものに変化、進化、そして深化させようと、先生方はどこの園よりも研修を積み、改善や工夫を行っています。しかし、行事のやり方や内容を変えたり、精選をしたりすると、「先生方が楽をするため」と思われる保護者が、一部ではありますがおられると聞き、大変悲しい気持ちになります。

前述の「おたのしみ会」を例にすると、何かの劇に決めて、毎日特訓し、いやおうなしに劇を完成させるやり方(教師主導型)と子どもたちがやりたいことを自らが工夫しながら創り上げていく過程を、見守り、支援し、子どもの思いに寄りそうやり方(子ども主体型)では、どっちが大変で、苦勞すると思いますか。私見ですが、後者(子ども主体型)の方が、前者(教師主導型)より何倍も大変だし、苦勞が多いと思います。先生の思い通りに、半ば強制的に子どもを動かし誘導する方がなんと楽なことか。

どの園も、子ども主体の教育・保育をしなければならないとはわかっているのですが、なかなかそうなっていません。それだけ大変だからです。「先生方が楽するために」となぜ思われるのかわかりません。

ふたばの先生方は決して自分たちが楽をするためではなく、常に、『こどもがまんなか』の教育・保育を行おうとしています。ご理解のほどをお願いします。

## お礼①とお知らせ②

① 「園の自己評価アンケート」にお忙しいなか、ご協力いただきありがとうございます。3月末にホームページ及びコドモンの資料室で「園の自己評価」の結果を公表します。是非ご覧ください。

② ふたばの先生方は、教育・保育の資の向上をめざして研鑽を積んでいます。保護者の皆様には、研修会のたびにお迎えの時間を早めていただくご協力をお願いしています。

その甲斐があり、3月にこども家庭庁から、「先駆的な取り組み」の園として認められました。そして今回は、2つの喜ばしい業績がありましたのでご紹介します。

1つ目は、中央法規から出版された保育専門書『ずれを楽しむ保育』に、ふたばの3名の先生が共著で執筆をしました。ふたばの実践事例がその本に掲載されました。(写真1)

2つ目は、ソニー教育財団が主催する論文懸賞(幼児教育の部)に、ふたばの2名の先生が執筆・応募し、見事「奨励園」賞を受賞しました。(写真2)

ふたばの教育・保育の質の向上とともに、先生方の力量の高まりが感じられました。

写真 1



写真 2

